



学校だより 9 月

“桜川 学びのエリア：桜川中・桜川小”

令和8年 9月 1日
板橋区立桜川小学校
No.6

この2学期、新たな一歩を

校長 和田 幹夫

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が、学校に戻ってきました。今年の夏も、大きな事件や事故に遭うこともなく、この2学期を迎えられたことを何よりも嬉しく思います。そして、ラジオ体操や交通安全・防災教室、水遊び等、町会や地域、PTAなどの行事、自然や様々な人々とのふれあい、自由研究や読書、スポーツ、お手伝いや家族との団らんなど、夏休みならではの経験を通して、子どもたちは、心も体も大きく成長できたのではないかと思います。また、地域の行事や、あいキッズのかえりなど、街の中で出会ったとき、元気にあいさつをしてくれる子供たちもたくさんおり、とてもうれしく思いました。夏休みの体験や学びを、ぜひ、2学期の学校生活に生かして欲しいと思います。

さて、今年の夏は、令和8年熊本地震をはじめ、令和8年千葉豪雨、8月下旬の北陸での豪雨など、自然災害が非常に多くありました。はじめに、令和8年熊本地震、令和8年千葉豪雨をはじめ、今夏の自然災害においてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

熊本地震については、つい10年前に大きな被害をもたらした地震が起き、復興途中に再度、大地震に見舞われました。また、豪雨については、100年に一度と言われるような記録的な豪雨が各地で起こっています。板橋区でも、8月22日には1時間に120mmを超えるゲリラ雷雨が発生し、道路の冠水や床下・床上浸水などの被害にあいました。8月23日の午前2時には震度5弱（足立区）の強い地震が起きました（板橋区は震度4）。就寝中に緊急地震速報が鳴り響き、非常に怖い思いをされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

このように、自然災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。6月に北区で起こった小学校での火災も含め、想定外ではいけません。9月1日は、103年前に起こった関東大震災の教訓を忘れず、国民が台風や地震などの災害についての認識を深め、備えを充実させるために、1960年に制定された「**防災の日**」です。避難訓練をはじめとする安全指導において、様々な時間帯、場面、状況を想定して、より一層の指導の充実を図っていききたいと思います。ぜひ、ご家庭でも、地震や暴風雨等の自然災害について、対応や避難場所などについて、話し合っていただけますようお願いいたします。

安全指導の充実も含めて、この2学期より本校では「**ユネスコスクール**」の認証に取り組んでいきます。ユネスコスクールとは、「ユネスコ憲章の理念に基づき、平和や国際理解、持続可能な開発のための教育(ESD)を実践する学校の国際ネットワーク(ASPnet)」のことです。もっとわかりやすくまとめると、

「**世界中の仲間とつながりながら、地球の未来や平和について学び、行動する学校**」と言えると思います。しかし、これは新しいことを行っていくということではありません。本校の教育目標「**〇助け合う子ども 〇考える子ども 〇たくましい子ども**」は、ユネスコスクールが育成をめざす資質・能力につながるものです。また、私が年度はじめにお伝えしましためざす学校像、「**学ぶ喜び、成長する喜び、人とつながる喜び**」を実感し、子どもを真ん中にして学校に関わる人々「**みんな笑顔の桜川小**」とも、方向性を一つにするものです。

保護者や地域の皆様と連携した教育活動の推進、緑豊かな地域環境等、桜川小の特徴やよさとともに、これまで桜川小の培ってきた実践の成果を生かしながら、歴史や未来、様々な立場の人々の視点を大切に、各教科等の学習や行事、特別活動を関連付け、子どもを真ん中にして、学校、家庭、地域の連携をより一層推進し、教育活動のさらなる充実を図っていきます。今後、随時、取組や学びの様子についてもご紹介していきたいと思います。この2学期も、一人ひとりが、安心して自分を、そして互いを成長させていけるよう、教職員一同全力を尽くしてまいります。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

＜子供たちの様子に心をくばって＞

長期休業明け、特に不安が大きくなりやすいこの時期、あたたかく子どもたちを見守ってあげてください。気になることなどがありましたら、担任までご連絡ください。（参考資料：学校 HP→おたより→配布物）